

祭りサイト企画



1810050308 神谷 佳宏



1.私の狙い

- 会員と非会員を区別するとともに、どちらにも快適な環境を提供する。
- 会員には、属性に応じた情報提供を行う。
- レビュー方式による書き込みやすさ。
- 検索サイト対策

2. トップページのイメージ

お祭りNet.

自分の年収は「こんなもんだ」と思ってませんか？
その場で分かる！
無料！10分の簡単テスト
市場価値診断
START!

CUSTOMER SATISFACTION.
MNPはまりました！
あなたはもうQU?

ログイン
メールアドレス
パスワード
ログイン

月から検索
1月2月3月4月5月6月
7月8月9月10月11月12月

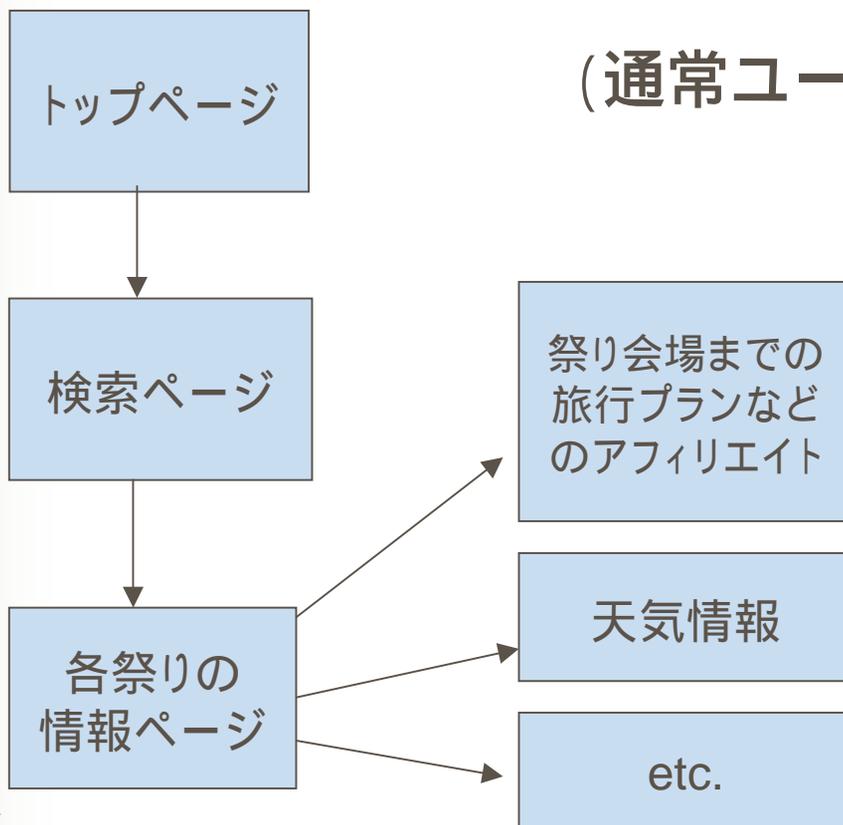
更新履歴

更新履歴

2006/11/7(火)
××祭 ××祭
〇〇祭 ××祭
〇〇祭 〇〇祭
SCHEDULE
祭NEWS
2006/11/7(火)
××祭 ××祭
〇〇祭 ××祭
〇〇祭 〇〇祭
SCHEDULE

3.画面構成図(1)

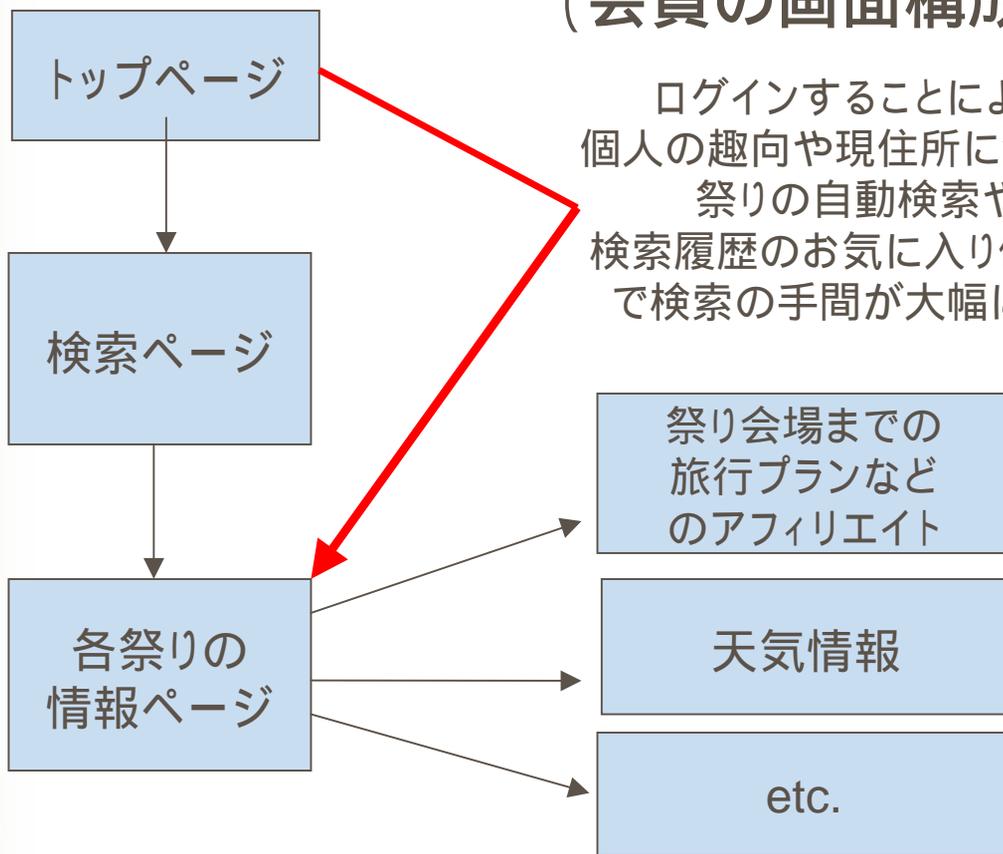
(通常ユーザの画面構成)



4. 企画の説明

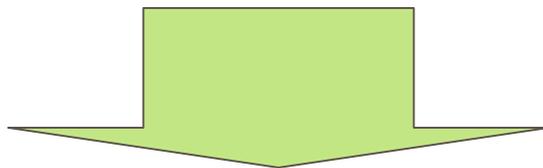
(会員の画面構成)

ログインすることによって
個人の趣向や現住所に合わせた
祭りの自動検索や、
検索履歴のお気に入り保存など
で検索の手間が大幅に減る。



4(補足).会員アカウント

- 検索の簡易化、おすすめ祭の表示、掲示板への書き込み権などメリットを持たせる。



アカウントの利便性 会員増

アカウントがなくても見ることが出来るので間口は狭くならない。

5. 参考にしたサイト

ニッポンの祭

<http://www.todays.jp/maturi/>



祭ニッポン

<http://www.maturi-jp.com/>



ミクシイ <http://mixi.jp/>



6. 反省とまとめ

- 祭サイトは現在大手と呼べるようなところは少ないが、それだけ今からでもチャンスがある！
- ゼミへの姿勢について。課題提出が遅れ気味だった。反省しています。

終わり